

## 寮生活・運動会

芦田 彩希

8月29日、他の奨学生3人とともに空港間の移動に苦労しながら山西省太原市に到着しました。私たち奨学生は留学生の寮で生活しています(写真1)。今年は日本人が11人と多く、他には韓国、タイ、アルメニア、アメリカ、タジキスタンなど様々な国の留学生もいます。寮には管理人家族も生活していてとても親切なので快適に寮生活を送っています。中国語は大学の第2外国語として約半年間履修し、自己学習もしてきましたが、最初はとても不安を感じていました。しかし、留学2年目の方や周りのサポートもありすぐに寮の生活には慣れました。

9月27日から3日間にわたって、秋季田径运动会(秋季陸上運動会)がありました(写真2)。運動会前日の夜まで、運動場では練習に励んでいる大学生たちでとてもにぎわっていました。当日は、学科ごとに異なるジャージを身にまとして入場し、開会式後には華やかなダンスや演出が行われました。私は100M×4リレーと砲丸投げに出場しました。留学生同士で応援しあいながら全力を尽くし、次の日には皆筋肉痛になるほどでした。競技に出場する待ち時間には中国の学生たちに話しかけられ「この日本語はどのような意味？」と質問されたり、知っている日本のアニメや歌を教えてくださいました。何度か話しかけられましたが、十分な返事をする事ができず、なかなか伝わらないことにとても苦労しました。

しかしそのことによって、勉強の目標を見つけることができました。自分の気持ちを一方的に伝えることは少し勉強をすれば誰でもできることだと思います。それとは逆に、相手の気持ちを理解するということはとても難しいことだと思います。コミュニケーションというものは、自分の気持ちと相手の気持ちが通じ合っこそ成立するものだと考えています。なので、これからの勉強は相手の気持ちがわかるように、リスニングの授業に力を入れていきたいと思っています。それによって、たくさんの人々と交流ができるように努力していきたいです。



留学生の寮



運動会の様子